

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 内田 章子		
健福-22	実施事業	シルバー人材センター支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	就業を希望する高齢者
意図	働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。
効果	高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。 ・事務所の運営に係る経費を補助した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等の	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	39,384	34,422	当初予算(千円)	36,226		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	7,006	7,006	その他	7,006		
	一般財源	32,378	27,416	一般財源	29,220		
	人員配置数	0.3	0.3	人員配置数	0.3		
事業経費運営	人件費(千円)	2,377	2,370	人件費(千円)	2,382		
	総事業費(千円)	41,761	36,792	総事業費(千円)	38,608		
	市民1人当りの経費(円)	237	209	市民1人当りの経費(円)	219		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容	勤労意欲のある高齢者に対し、生きがいと社会参加の機会を提供するシルバー人材センターを支援することは、健康寿命の延伸や地域の活性化につながるため、事業は引き続き行っていくが、適正な補助金のあり方や支援の方法などについて見直しをしていく。 また、高齢者雇用促進事業統合の可能性についても視野に入れ検討していく。
	事業へ統合				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	勤労意欲のある高齢者に対し、生きがいと社会参加の機会を提供するシルバー人材センターを支援することは、健康寿命の延伸や地域の活性化につながるため、補助金のあり方については検討するものの、事業は引き続き行っていく。しかしながら、センターの人員費体系については見直しが必要である。さらに、事務所移転についての検討が必要である。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	高齢者の生きがいづくりとしてシルバー人材センターは重要な役割を担っている。センターは、人件費見直しや事務所の移転についての検討も必要であることから、法人ができるだけ自立した運営に移行できるように、適正な補助のあり方・支援の方法等について検討を進める。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	法人運営が自立していくためには事業収入を増加させる必要がある。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	事業収入増加については、自主事業の拡大等、指導を行っており、平成30年4月7日から市役所駐車場料金を値上げすることとなった。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	運営費補助金の見直しについてさらなる検討を行う。事業の合理化や事務局体制のあり方、会員数の拡大など法人運営が自立していくような支援の方法を検討する。事務所の運営支援については、移転を視野に入れた見直しを進める。令和元年度に国の委託期間が終了する高齢者雇用促進事業の統合についての可能性も視野に入れて検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	シルバー人材センター事業実績 上段=会員数、下段=就業率(請負・委任における就業実人員÷会員数)(平成29年度)								
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	藤沢市	平塚市				
他市実績	582人	1,296人	226人	2,523人	1,652人				
	90.5%	71.6%	78.3%	40.0%	64.4%				

比較事項	請負・委任契約状況 上段=契約金額、下段=受注件数(平成29年度)								
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	藤沢市	平塚市				
他市実績	282,681千円	540,412千円	92,321千円	849,982千円	590,003千円				
	3045件	4290件	813件	2877件	5897件				

比較事項	シルバー人材センター運営費(人件費)補助金(平成29年度)								
団体名	鎌倉市	横須賀市	茅ヶ崎市	藤沢市	平塚市				
他市実績	35,722千円	13,028千円	34,482千円	47,878千円	14,500千円				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市と比べ就業率は高いが、会員数がもともと少ないうえに少しずつ減少しているため、必ずしも好実績ではない。請負は件数も多く需要があるものの、他市と比べて運営費(人件費)が高く見直しを必要とする。							
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	シルバー人材センター運営費(人件費)補助金						単位	千円	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H30は1人欠員			
人員見直しにより人件費の推移を見ていく	目標値	-	-	-	-	25,222	25,222				
	実績値	38,491	34,572	35,722	35,772	28,722					
	達成率	-	-	-	-	113.9%					

指標の内容	自主事業収入(市役所駐車場管理)						単位	円	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
自主事業の拡大により、収入の推移を見て、更なる法人運営の自律を目指す	目標値	-	-	-	-	25,500,000	25,500,000				
	実績値	15,794,060	15,714,500	17,944,300	15,789,000	16,953,250					
	達成率	-	-	-	-	66.5%					

指標の内容	シルバー人材センター会員数						単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
元気に働ける高齢者の推移を見ていくため。	目標値	-	-	-	-	-	-				
	実績値	638人	613人	602人	596人	582人					
	達成率	-	-	-	-	-	-				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	事業収入が増えることにより、法人運営が自立可能となることから、自主事業の拡大が必要である。運営費についても人員の見直しにより削減が可能となり、更に、会員数が増えることにより、高齢者の生きがいづくりと地域貢献の機会が増えると考えられる。							
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--